SHINJO HIGHSCHOOL HIROSHIMA
第58号

私学新庄

創立115周年新庄学園同窓会総会・懇親会

令和６年６月１日（土）、ホテルグランヴィア広島において、創立115周年新庄学園同窓会総会・懇親会が行われました。はじめて広島市内での開催となりました。第７回生から第67回生まで120人を超える卒業生の皆様にご参加いただきました。

懇親会では、新庄学園での学校生活のことや近況の報告などで大いに盛り上がりました。時間はあっという間に過ぎ、最後は全員でのストームでお開きになりました。参加者の皆様からは、「本当に楽しかった。ぜひまた企画してほしい。」などの声が聞かれました。ご参加いただいた卒業生の皆様、本当にありがとうございました。またお会いしましょう。

「世代を超えた交流の場」

広島県新庄学園同窓会長
長田　克司

同窓会会員の皆様方におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は同窓会活動にご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

アフターコロナで世の中は平時を取り戻した様子ですが、全世界を襲ったこのパンデミックはまさに生活様式を一新したと言っても過言ではありません。冠婚葬祭をはじめとして慣習の変化はお気づきのとおりで、更にどんどん進んできております。

同調して新庄学園を取り巻く環境も変化しており時代対応を余儀なくされていると聞いております。さて、新庄学園は令和6年5月3日に115周年の創立記念日を迎えました。その前日5月2日に記念式典を行い、式典後には森　常之さん（29回生、イオントップバリュ㈱取締役副社長）をお迎えし記念講演をしていただきました。世界企業としての戦略の必要性などリアルに聞くことができ生徒達も参考になる部分が多かったと思います。同窓会としても今後、計画的に卒業生を講師として、OB・OGのキャリア授業を進めて行きたいと考えておりますが、改めて今回、その必要性を痛感いたしました。また、令和6年6月1日土曜日には、かねてより案内していました同窓会本部総会・懇親会を初めて広島市内のホテルグランヴィア広島で開催いたしました。同窓会各支部のご協力も有り、下は20歳代から上は80歳代まで幅広い年代の方に参加いただき、120名近くの規模で開催できました。終始、和やかな雰囲気で進み、同窓生の世代を超えた交流の場として盛り上がり、最後は参加者全員による大ストームで締めることができました。余韻の元、二次会もそれぞれ巷に分散また合流を繰り返したと聞いております。過日、「良かった」「最高だったね」と参加者から声がかかり、同窓の特別な温かく表すことのできない雰囲気を感じました。会場の選定、司会進行全て、同窓生で賄える、組織力こそ「新庄力」そのものだと心強く思いました。今後につきましては、役員会等で意見集約して決定して参りたいと思います。また、令和6年10月末にお手元に届いたと思いますが、この度、8年ぶり（前回2016年発刊）同窓会名簿の発刊をいたしました。多くの方にご協力いただき、また、広告、賛助金にもご賛同いただき誠に有難うございました。それぞれ有意義にご活用ください。改めて言う事ではありませんが、個人情報保護の観点から、名簿の取り扱いに関しては細心の注意を払っていただきますようお願い申し上げます。今後、卒業生一人一人がこれまで以上に同窓会活動に関心を持っていただき、若い卒業生をはじめ各世代の方々に主体的にかつ積極的に参加したくなる魅力的なネットワークを構築できるよう一歩一歩努力していく所存です。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。多くの卒業生の皆様とお会いできることを楽しみにしております。引き続きよろしくお願いいたします。

卒業生の皆様方の更なるご活躍をお祈りいたします。

「自立」を目指して
―「我は吾自らの光の中に生きん」の意味するもの―

校長　荒木　猛

新庄学園同窓会の益々のご発展をお慶び申し上げます。また、学園教育に深いご理解と暖かいご支援を賜り、心より感謝いたします。

さて、本校が校訓とともに大切にしてきた第二代校長豊留アサ先生の「我は吾自らの光の中に生きん」という言葉の意味するものを、改めて考えてみました。私は、この言葉を自らの「自立」を強く宣言する言葉であると捉えています。

人間は、誰も一人では生きていけません。したがって、孤立や孤独は、身や心の安全を脅かす極めて恐ろしいものです。それを回避するために、人は何らかの共同体をつくり所属することで、安全や安心を得ることが必要となります。ところが、共同体への所属感を満たそうとするあまり、快々にして共同体を構成する人々が望むような「わたし」になろう、具体的にいうと、家族や学校の先生、友人たちなど周りの人たちの期待に応え、認められることを第一に生きることになりがちです。これは、「わたし」の価値を他者に決めてもらうことであり、「他者に依存する生き方」です。私が「わたし」の人生を生きるのではなく、他者の人生を生きてしまうことになると言ってもいいでしょう。「自立」とは、褒められるとか批判されるとかいった他者からの評価を一切断ち切って、自らが信じる価値観に基づいて「わたし」の価値を私自身で決定するということです。本当に「自立」することは、実に困難なことかもしれませんが、それに少しでも近づくことが人間の成長であり、教育の最終目的であると思います。

本校はこれからも時代を超えて大切に受け継ぐべきものと時代に即して変えるべきものを見極めながら、生徒一人ひとりの「自立」のために、より良い教育の実現を目指して参ります。引き続き、本校教育の充実発展のために、同窓生の皆様の力をお貸しいただきますようお願い申し上げます。

同窓生は今…

「テニスを通して学んだこと」

加藤 節也さん
（高校26回生）
島根県邑智郡邑南町

私が新庄高校を卒業し、今春で50年が経過しました。まさしく「光陰矢の如し」で、年を重ねるのは早いものです。

中学を卒業し新庄高校へ入学、その後、亜細亜大学へ進学しました。卒業後、大阪の私学の中高一貫校で教員として勤め、また硬式テニス部の顧問としては全国大会の団体戦で好成績を収めることができました。50歳を超えた時に多くの人の勧めもあり、私学の中高一貫校で、城南学園というテニスに力を入れている学校に移ることになり、64歳まで勤めました。42年間の長きにわたるテニス部顧問としての基本的な姿勢は、母校の中学での経験と、新庄高校のテニス部の顧問であった宮庄良知先生を通して培われたと思っています。

当時のことをふり返ってみましょう。私の出身中学校はテニス部の歴史も古く、大変熱心に取り組んでいました。入学当初は、先輩が素振りや一本打ちを見てくれました。夕方の5時を過ぎたころ、熱心なOBの方々が毎日来て練習を見てくれていました。その時に教わったことで印象に残っているのは、フォーメーションのことです。ソフトテニスは必ず二人一組のペアを組んで対戦します。どのように二人が動けばいいか、どのような場面でストレート、クロス、ロビングを打てばいいか、地面に何度も書いてもらって覚えました。新庄高校で宮庄良知先生にも同様のことを教えていただきました。「後衛がラリーをしているときに前衛が取るべきボールを取らなかったら、敵が3人いるようなものだから、前衛は立つべき場所に立って取るべきボールは取り、ポイントしなさい。」思えば当たり前のことですが、私が顧問をしている42年間、ダブルスの練習の時によく使わせてもらった言葉です。

新庄高校に入学し校門を入ると右側に女子寮があり、その奥にテニスコートがありました。すぐに入部しました。人数も多くなく、OBも来てはくれませんでしたが、自分たちで練習メニューを考え、試合に臨んだことは大きな糧となりました。

ところで、私たちは宮庄良知先生のことを「良先生」と親しみを込めて呼んでいました。入部して間もなくのことです。小雨も降り始め風も強くなってきたので、練習を終わろうとしていた時に良先生が来られました。そして「もう終わるんか。風が強い日や多少の雨でも試合はある。そんな弱気なやつは試合には出さない。」と怒られました。学級担任でもあり、優しい先生だと思っていたのに、こんなに恐ろしい先生だったんだと思ったものです。その後も良先生はことあるごとにメンタル面の話をしてくださいました。

中学の時は技術的なこと、良先生からは技術面とテニスを通して社会に出た時の心得を教えていただいたように思います。大阪で教員となり硬式テニス部の顧問となってからも、強豪校との練習試合の時、卒業生に声をかけてヒッティングをしてもらった時、さまざまな場面で良先生の言葉が浮かび、厳しさと優しさの中でテニス部も強くなっていきました。

平成30年には日本テニス協会から優秀監督賞を頂きました。中学・高校を通して七回の全国優勝をしました。春は福岡での全国高校選抜、夏は全中とインターハイ、秋は国体、冬は全国私学と続きます。硬式テニスは、中体連・高体連のほかにテニス協会の試合があり、それで獲得したシングルスのポイントが高体連のポイントにリンクします。そのポイントの合計が団体戦のシード決めの基準となります。シングルスは苦労しましたが、徐々に優秀な選手が集まるようになりました。硬式テニスのダブルスは二人とも前の動きができないといけません。シングルスは上手でもダブルスは苦手な子がたくさんいます。学校での練習はダブルスが中心となります。そしてミーティングで生徒の意識を高めていきます。大きな声であいさつができること、試合で勝っても謙虚な態度で接すること、これらのことも私が中学校や良先生から学んだことです。教わった多くのことは私の人生を豊かにしてくれました。

福島県会津総合運動公園テニスコート

かつて、良先生が「良い指導者を育てるのが夢だ」と仰っていました。新庄高校の硬式テニス部に何らかの形で微力でも貢献できたらと思っています。

島根の実家に帰って三年が経ちました。邑南町口羽で「寿老（じゅろう）味噌」というもろみ味噌を作って販売し、毎日を忙しく過ごしています。お近くにお越しの際は是非おいでください。

豊留アサ先生の苦闘と新庄高女成立

理事長　久枝　直

明治42年は学校の形を作ることだけで過ぎた。11月に旧新庄小学校の建物を村から譲り受けて校舎ができた。翌明治43年からは生徒数は28人から54人とほぼ倍増し、山県郡と新庄村から補助金が届けられはじめた。さらに後に豊留先生の最良の協力者となる安田ヒサ先生も奉職された。6月からは三上一彦校主が新庄に帰られ校務を執られた。こうして一通り女学校の運営態勢が整った矢先、1月に三上一彦校主は逝去され、豊留先生は3月に30歳で新庄女学校の第二代校長となった。

豊留先生の教育方針は明確であった。まだ各種学校の一つに過ぎない「私立新庄女学校」では一貫して高等女学校に準じた教育が行われた。中でも学寮は、日本女子大学校の寮生活を徹底改良したものとし、豊留先生も寮に寝起きし、終日教育指導する体制をとった。しかも、その寮生活は、生徒の自治を極めて重視したもので、10人くらいの生徒を一つの「家」と名づけ、寮生は「家」ごとに「自治年間計画」をたて、学期ごとに計画と成績を発表しあった。食材も、できるだけ自分たちで調達することとし、有志提供の農地で米や野菜を育て、春の山菜採りや秋のキノコ狩りも盛んに行われて、食材の助けとされた。また、創立初年度から日本女子大学校にならってバザー（学芸品展覧会）を開き、生徒製作の手芸品等を販売して寮運営費用の足しにした。当時の入学生の多くは裕福な家庭の出身であって、農作業はもとより家事の経験さえもない者もあった。豊留先生は、時にはあきれ、時には嘆きながらも、洗濯の仕方や掃除の仕方、米の炊き方を生徒に教えてゆき、ついには味噌や醤油の製造や、養鶏、養蚕まで教えることになった。地域に密着し、農村の婦人たる教養を育てる新庄女学校の教育実践は次第に人々の見方を変えていった。

創立5年、新庄女学校の入学者は少ないながらも安定してきた。女学校への評価も年を追って高まり、「立派な校長先生がおられる」との噂から、広範囲から入学を希望する生徒がでるようになった。学校体制も整備され、学校運営機関として「新庄女学校幹事会」が設けられ、有志の中心にいた石原理一、武田収三、清水鮪太郎、久枝龍の4名がその任についた。教員組織も明治45年に盛岡高等農林卒の白砂郷太郎先生が着任し、主要科目の農業を担当するようになり、翌大正2年には東京の女子学院を卒業した大久保ヤス先生が着任し、図画、体育などを担当するに及び、豊留先生は国語・修身・歴史・唱歌の授業に専念できるようになった。このころから新庄女学校への学校視察が相次ぎ、大正3年には、寺田知事の来訪を仰ぐこととなる。各種学校令に基づく女学校を知事が視察するなど異例中の異例であった。

大正3年11月、豊留先生は全生徒50人を連ねて日本女子大同窓会「桜風会」広島支部を訪問し、恩師成瀬仁蔵氏と会見し、新庄女学校の経営を報告した。そして翌年には「桜風会」機関誌「家庭週報」に「山村の女学校より」と7回の稿を寄せた。これに応えて成瀬仁蔵氏は様々な出版物に豊留先生の偉業を紹介した。

大正7年 新庄女学校教職員
左上より菅キヨ教諭、安田ヒサ教諭
白砂郷太郎教諭、三上重緒校主、豊留アサ校長

これら日本女子大学校と新庄女学校との交流には意味がある。それは、日本女子大学校で体得した豊留先生の教育を新庄女学校の生徒に継承させることである。創立以来、新庄女学校から日本女子大学校に5名の進学者があった。そして日本女子大学校を卒業して新庄女学校に赴任した8名の教師の中に、新庄女学校卒業生が4名含まれていた。これら日本女子大学校進学者は、そのまま女子教育普及活動の戦士となり、新庄学園を支えることとなる。新庄女学校は、評価の高まりを受けて、大正6年に知事認可校から文部大臣認可校に昇格した。

創立10年目にあたる大正8年は豊留先生にとって重要な年となった。2月に東京に成瀬仁蔵先生を見舞い、「信念徹底」の遺墨を持ち帰った豊留先生は約2週間後に成瀬仁蔵氏の死去の報を受け、授業中に卒倒した。だが豊留先生に悲しんでいる余裕はなかった。創立記念日に向け、道の両側に離れていた校舎を一カ所に移転統合する大工事を行った。有志をはじめ新庄村総出の作業で、道に丸太を置いて、建物をまるごと移動させる荒技であった。

創立記念の日、豊留先生は山県郡長より教育功労賞を受けた。初めて豊留先生の偉業を公的に認める授賞であり、以後は、豊留先生に向けて後ろ指をさす者もいなくなった。そして、翌大正9年、新庄女学校は「新庄実科高等女学校」となり、その二年後に「新庄高等女学校」の認可を得る。高等女学校の認可を受けた意味は大きかった。以後、入学生徒数は増加し、新庄女学校の安定した発展が予想された。

当時の女学生による豊留先生の印象は共通している。豊留先生の大柄な体、毅然とした態度は、会う者を圧倒し、誰も最初は「近寄りがたい」印象だったという。しかし、豊留先生と言葉を交わすと、人はその印象を変える。常に笑顔を絶やさず、愛情あふれるその言動は、生徒達を、たちまちのうちにとりこにした。

豊留先生は、教育の目標を、自立する「信念」を育てることにあるとされ、妥協は許さなかった。「たかね故豊留校長先生追悼号」に増本湛子（高女17回）さんの文が載せ

られている。豊留先生は生徒一人ひとりに鋭く迫られる。「皇国の銃後の女性である貴女たちは、古今未曾有の国難であると言うことを自覚して自分の日常生活、勉強に全精神を打ち込んで本当に一生懸命でやっている人…ハイこの席では次、この席では…」そして、誰も手をあげるものがいないことを知ると「ううん…そう…そうだったの、みんなまだ子供だね。」とおっしゃり、しばらく日本の状況について語られた後に「今先生の言ったことがそのまま素直に受け入れられますか、そうして明日から、いいえ今日から…今から本当に心から真剣になれますか。なれる人、この席、手を挙げて、ハイこの席は」、それでも「一人でも素直に受け入れられない人があると、先生は一時間中でも涙と共にその人を諭されるのでした。」日々の授業は豊留先生の「信念」が注ぎ込まれた熱量溢れるものであった。

また、同じく「たかね」の中で沖田巴（高女7回）さんは、「当時、高等師範学校への受験へと勤しんでいた私はある夜、何かの質問でお伺いした時、先生はしっかり私の手を握って」「浦田さん、どうか懸命におやりなさい、私はきっとあなたをパスさせて見せます。あなたを立派にパスさせるまでは、たとえ私は人から蹴られても踏みにじられてもじっと我慢しています」と豊留先生の言葉を伝えている。生徒を心から愛し、それぞれに「自らの光」の獲得を求められるその熱意は、豊留先生がしばしば生徒に語られた、薩摩の西郷隆盛の姿そのままであった。

豊留先生の「自らの光」は、女子教育を全国に広げていく使命であり、しかも、誰もなしとげたことのない農村に女子教育を創出する夢であった。そして、この熱い思いが、地域に男子をも含む総合教育機関を設置し、農村の復興を果たしたいとする武田収三氏をはじめとする地域有志の考えと微妙に異なっていたことが、実はその後、創立20周年を前にした学園分裂の種となっていくのである。

大正9年 実科高女運動会 竜山にて

同窓会通信

●関西支部総会

令和6年7月7日（日）、新大阪ワシントンホテルプラザにて関西支部総会および懇親会を開催いたしました。長田同窓会長、久枝理事長、荒木校長、宮庄事務長にも出席していただき、出席者約30名で和やかなひと時を過ごしました。

関西支部よりお知らせ

令和7年度の関西支部総会は7月6日（日）に行います。皆様のご参加をお待ちしております。

●新庄学園同窓会ゴルフ大会

令和6年4月21日（日）、千代田ゴルフ倶楽部にて新庄学園同窓会ゴルフ大会を開催いたしました。

●高校37回生 3年4組クラス会

2023年12月17日（日）、私たちのクラスは10年以上前から毎年この時期にクラス会をしています。この日は、新型コロナで中断していたので4年ぶりの開催となりました。みんな話が止まらず最後にする恒例のビンゴ大会も大盛り上がりでした。2024年は12月15日（日）の予定です。

会費の残りは、新庄学園に寄付させていただきました。

（代表）平野　正

●附設中学校43回生同窓会

令和6年8月11日（日）に広島市東区の「和×中×韓料理　三国団」において、附設中学校43回生（1990年3月卒）の同窓会を開きました。

花田喜信先生、佐々木真子先生にもご臨席いただき、総勢17名の参加となりました。

私たちは4年に1度オリンピックの年に同窓会を開催していますが、コロナ禍のため今回は8年ぶりの開催となりました。久しぶりに先生方や同窓生と再会し、近況報告や思い出話に花を咲かせる事が出来ました。それぞれ多忙な中で、毎回全員が揃って参加する事はできませんが、次回4年後の再会を楽しみに、お互いにこれからの健闘を約束して閉会しました。

令和5年度新庄祭【中高】

11月2日(木)、3日(祝)、2日間にわたって、新庄祭(文化祭)が行われました。「今しかやれない学園天国　#青春かましますす宣言」というテーマで、入場制限のない形で行われました。2日(木)はステージ発表の部として、合唱コンクール(中1~高1)、文化部のステージ発表、高校2年生のステージ発表がありました。3日(祝)はお祭りの部として、野外ステージでの歌やパフォーマンス、屋外テントでの模擬店や、各教室を展示会場にした教室展示などがありました。

修学旅行【中2】

11月29日から12月2日まで3泊4日で沖縄に行きました。そのうち2泊は民泊です。伊是名島という沖縄本島からフェリーで約1時間の離島での民泊でした。島の家での生活をのぞかせてもらいましたが、観光地巡りだけでなく漁業体験や沖縄料理作りなど島でないと体験できないことや、地元の味や民泊先でのおもてなしは生徒たちにとって、とても良い思い出になったようです。

また後半は興南中学高等学校の生徒と一緒に平和学習をしました。実際に史跡をめぐり地元の方から話を聞き、興南中高の生徒さんと一緒にグループディスカッションをしました。事前学習として、沖縄の歴史について勉強しましたが、実際に行って感じ、地元の同世代の生徒と交わることで深めることができました。

修学旅行【高2】

11月末から3泊4日で関東へ修学旅行に行きました。1日目は「カップヌードルミュージアム」、「横浜中華街」へ行き、その後「YOKOHAMA AIR CABIN」に乗り、横浜の夜景を楽しみました。2日目は都内グループ研修後、舞台「ハリーポッターと呪いの子」を観劇しました。その後、お台場散策を行いました。TBSテレビの取材等もありましたので生徒は大興奮の1日でした。3日目は「ディズニーリゾート」へ行きました。あらかじめ選択した「ランド」か「シー」で夜のパレードまで楽しみました。最終日は浅草の散策と「東京スカイツリー」へ行きました。この4日間を通じて生徒達は楽しんだだけではなく、「最先端」や「本物」に多く触れ、進路選択等未来への糧を得たと確信しています。

高校生議会の経験継承【中3】

12月7日(木)、高校3年生の亀山陽叶君が、後輩である中学校3年生に対して、政治参加についての話をしました。北広島町高校生議会で亀山君が高校生議員として提案し、北広島町執行機関の方々が答弁する様子や、答弁に対して再質問する場面を実際の映像で観ました。亀山君が政治に興味を持ったきっかけや、政治について自分が考えていることについて、新庄中時代を振り返りながら後輩に伝えました。質疑応答では、中学3年生から亀山君に対して活発に質問が出て、非常に学びの多い時間となりました。

日本史　小倉山フィールドワーク【高校】

高校2年生は毎年「国指定史跡小倉山城址」へのフィールドワークを行います。「小倉山城址」は北広島町に展開する9つの吉川氏関連史跡の一つで、15世紀前半に築造され、吉川興経により16世紀半ば日野山(日山)城に移るまで拠点とされた山城です。重機の無い時代に全て人力で築造された山城の姿は圧巻です。五百年前と同じ山道を登り、当時の人の感触を追体験します。日本史探究では、こうした学校周辺の史跡を訪ねた考察・探究授業を展開しています。

スキー教室【高1】

1月26日(金)、北広島町芸北地域の大佐スキー場にて、高校1年生対象のスキー教室を行いました。曇天模様でしたが吹雪くこともなく、良い状態で滑ることができました。最初は転んでばかりでげんなりしていた生徒も、徐々に滑れるようになり表情が晴れていく様や、滑りながら思わず声が出てしまう状況が印象的でした。実際にスキーを初めて体験した生徒からは「面白い！」という声も聞かれました。

課題研究発表会【中学】

2月16日(金)、中3課題研究発表会が行われました。今年で19回目を迎えました。「自ら課題を見つけ、仲間と協力して解決する」を目標に、年々充実した発表になっています。4グループ(「地域文化」「医療福祉」「国際理解」「環境科学」)に分かれ、さらにその中で1～4名の小グループで1年間探究活動を行います。4年ぶりに全校生徒、保護者の方を招いての成果発表会となりました。どのグループもSDGsを意識した素晴らしい内容でした。高校進級後も生徒は探究活動を継続します。同じテーマを継続することも、新しいテーマで研究することもできます。

令和5年度中学課程修了式【中学】

3月12日(火)、午後から令和5年度の中学課程修了式を新校舎大教室で行いました。中学3年生は、中高6ヶ年の前半である中学課程を修了し、後半の高等学校課程に向けて決意を新たにしました。校長先生より各クラスの代表への卒業証書授与が行われ、進級に向けて激励のことばがありました。その後、担任から生徒一人ひとりに証書を手渡し、生徒一人ひとりが、この3年間で自分が成長したと思うことを五七五の句にして発表しました。

令和5年度高等学校卒業式【高校】

3月1日(金)、第76回広島新庄高等学校卒業式が行われました。120名の卒業生が6年間もしくは3年間過ごした学舎を巣立っていきました。今年は高校1・2年生も参加して行われました。式を終え各クラスに戻ったあとも、学校で過ごした月日を思い出しながら、別れを惜しんでいました。

「SDGs QUEST みらい甲子園」広島県大会ファイナリスト【高校】

「SDGs QUEST みらい甲子園」広島県大会(中国新聞社共催)において、2年生のチームmini・sが、参加した159チームの中から、12チームのファイナリストに選ばれました。SDGs QUEST みらい甲子園は、開催エリアの高校生たちがチームを組んで主体的にSDGsを探究し、様々なアクションやアイデアを創出・発表し、表彰する大会です。本校の3名は「学生を応援したい！情報共有サイトの作成」というプランを提案しました。3月25日にファイナルセレモニーとワークショップが中国新聞ビルで行われ、他校のファイナリストの方々と交流しました。

令和6年度入学式【中高】

4月6日(土)、新たに中学1年生33名、高校1年生122名を迎え、入学式が行われました。久しぶりに在校生も参加する形で行われました。当日は大変天候もよく、本校の桜もちょうど満開となり、記念撮影は高校校舎前の桜の木の前で撮影できました。また、学級開きのホームルームを行い、新入生の中学・高校生活がスタートしました。

令和6年度高校通信制「未来デザインコース」入学式【高校】

4月13日(土)、通信制課程未来デザインコースの第1回入学式が行われました。

創立115周年記念式典【中高】

本校の創立記念日は5月3日ですが、本年度も昨年に続き5月2日に創立記念式典を行いました。式典後の記念講演は、本校卒業生でイオントップバリュ株式会社取締役副社長・戦略本部長の森常之氏に「プライベートブランドのZ世代マーケティング」と題し、講演いただきました。時代の変化を読み解きながらマーケティングを仕組んで来たご経験からこれからの時代に大切なことについてお話いただきました。

令和6年度体育祭【中高】

5月16日(木)、体育祭を開催しました。朝は晴れていたのですが、ちょうど開会式あたりから雨が降り、気温も低く中断も検討しながらの実施になりました。午後からは雨も上がり、生徒も臨機応変にてきぱきと動いてなんとか全ての競技を行うことができました。昨年に続き紅軍の勝利となりました。

「日本オオサンショウウオの会全国大会」参加【中学】

10月19日(土)、第19回日本オオサンショウウオの会広島大会(全国大会)が北広島町において開催され、全国から約330人の研究者や関係者が集まりました。中学3年生の河邉直洋さん、脊戸光己さんの2名が参加し、「オオサンショウウオふ化幼生の離散のタイミング」の研究成果を発表しました。

クラブインフォ

軟式野球部 中高

中学生

令和5年9月 山県郡新人大会 第1位

令和6年6月 芸北地区選手権大会 第2位

令和6年7月 山県郡総合体育大会 第1位

その他、クラブチームも参加する大会である「しまなみ大会（6月）」「三次市議会議長杯（8月）」に参加

中学

高校生

第69回春季広島県高等学校軟式野球大会
2回戦 3－5 呉港

第69回全国高等学校軟式野球選手権大会広島県予選大会
1回戦 11－0 AICJ（5回コールド）
ゾーン決勝 2－3 広島なぎさ

第69回秋季広島県高等学校軟式野球大会
1回戦 0－7 広陵（7回コールド）

剣道部 中高

卒業生の方、いつでも稽古に来てください。

中学生

令和5年度芸北地区新人大会
男子団体 1位（県大会出場）
女子団体 1位（県大会出場）
男子個人 2位（佐藤）
3位（古武家）
女子個人 1位（佐多）
2位（中平）
3位（三浦）

令和6年度芸北地区中学校選手権
団体男女 1位（県大会出場）
個人女子 1位（佐多）
2位（三浦）
3位（中平）
個人男子 1位（佐藤）
3位（古武家・町田）
（個人 1・2位は県大会出場）

令和6年度芸北地区総合体育大会
団体女子 1位 新庄Bチーム
2位 新庄Aチーム
団体男子 1位 新庄Aチーム
個人女子 1位（佐多）
2位（三浦）
3位（中平・高下）
個人男子 1位（佐藤）
3位（三宅）

中学

高校生

中国新人大会県予選
男子団体 3位
（村上・高下・竹内・河重・金藤・安部・渡辺）
女子団体 3位
（芥子田・佐多・三上・加井妻・西村・亀井・金藤）
女子個人 5位（三上・佐多）

中国新人大会
男子団体出場
（村上・高下・竹内・河重・金藤・安部・渡辺）
女子団体出場
（芥子田・佐多・三上・加井妻・西村・亀井・金藤）
女子個人出場（三上・佐多）

中国大会県予選
男子団体 3位
（村上・高下・竹内・河重・金藤・安部・渡辺）
女子団体 3位
（芥子田・佐多・三上・加井妻・西村・亀井・金藤）

中国大会
男子団体 5位
（村上・高下・竹内・河重・金藤・安部・渡辺）
女子団体出場
（芥子田・佐多・三上・加井妻・西村・亀井・金藤）
男子個人出場（河重）
女子個人出場
（三上・芥子田・加井妻・西村）

高校

女子バスケットボール部 中高

中高一緒に練習しています。中学校は合同チームとして大会に出場しました。
それぞれ県大会出場を目指して頑張っています。

中学生

芸北地区総合体育大会 第2位
（千代田中との合同チーム）

高校生

新人大会広島地区予選
新庄 57－58 西条農業

総体広島地区予選
新庄 52－95 海田高校

卓球部 中高

中学生

第73回山県郡中学校総合体育大会
男子シングルス 2位（高松）
男子団体 3位

高校生

令和5年11月 第69回広島県高等学校新人卓球大会（学校対抗の部） 出場

令和6年5月 第73回広島県高等学校卓球選手権大会 2名出場

令和6年6月 第77回広島県高校総合体育大会（卓球・学校対抗の部） 出場

ソフトテニス部 高校

第77回広島県高校総合体育大会
団体ベスト8

■硬式野球部 高校

令和5年度 秋季広島県高等学校野球大会

9月17日 1回戦
広島新庄 10－0 尾道商
（6回コールド）

9月24日 2回戦
広島新庄 15－1 吉田
（5回コールド）

9月30日 準々決勝
広島新庄 8－4 市立呉
（延長10回）

10月1日 準決勝
広島新庄 19－4 市立福山

10月7日 決勝
広島新庄 3－4 広陵
（準優勝で中国大会進出）

第141回秋季中国地区高等学校野球大会

10月28日 1回戦
広島新庄 13－1 矢上（島根）
（7回コールド）

10月29日 準々決勝
広島新庄 0－1× 創志学園（岡山）
（ベスト8）

令和6年度 春季広島県高等学校野球大会

4月20日 1回戦
広島新庄 0－1 崇徳

第106回 全国高等学校野球選手権広島大会

7月13日 2回戦
広島新庄 10－0 美鈴が丘
（5回コールド）

7月19日 3回戦
広島新庄 16－0 沼田
（5回コールド）

7月21日 4回戦
広島新庄 6－8 崇徳

※U-18 日本代表候補選手強化合宿（令和6年4月4日～6日）に石津慶大が参加

■陸上部 高校

令和5年9月 第49回 広島地区高等学校新人陸上競技選手権大会
1名出場

令和6年3月 LIONスポーツスペシャル RCCひろしま女子駅伝競走大会
5名出場 27位

令和6年7月 第72回 広島地区高等学校夏季陸上競技選手権大会（広島地区対抗）
2名出場

■美術部 中高

新庄夜市アートパフォーマンス（中・高）

第17回北広島町児童生徒自画像展
（優秀賞1名、奨励賞3名、入選5名）

■吹奏楽部 中高

第47回広島県アンサンブルコンテスト 高等学校の部
金管八重奏 金賞
管打八重奏 銀賞

第65回広島県吹奏楽コンクール（高等学校A部門） 金賞

■科学部 中高

ロボカップジュニア・ジャパンオープン2024全国大会
中2 脊戸光己
中1 原田煌生
62チーム中53位

■郷土芸能同好会 高校

令和5年11月 文化祭出演
演目「滝夜叉姫」

令和6年7月 第13回高校生の神楽甲子園ひろしま安芸高田出演
演目「悪狐伝」

■軽音楽部 高校

新庄夜市 出演
サンクス夏まつり 出演

校内の新庄祭（文化祭）に加えて、地域のイベントに参加しています。

■書道部 高校

令和5年11月 広島県高等学校総合文化祭書道展 5名作品出展

令和6年7月 広島県高等学校書道連盟席書大会
6名参加 佐伯優月 入選

その他、私学フェスタ、法務省主催イベント「社会を明るくする運動」、地域のイベント等にて書道パフォーマンスを多数おこないました。

■体操部

広島県総合体育大会 宮本美紀（個人総合3位）
宮本陽向（個人総合13位）

広島県選手権大会 宮本美紀（個人総合2位）

中国高校体操選手権大会に出場 宮本美紀、宮本陽向

SAGA2024国スポ
広島県少年女子代表選手として出場 宮本美紀

令和７（2025）年度　入試情報

中学校　**募集人員（Ⅰ期：約55名、Ⅱ期：約５名、Ⅲ期：若干名）**

Ⅰ期（専願・准専願・併願）	Ⅱ期（専願･准専願･併願）	Ⅲ期（専願）
2025年１月５日（日）	2025年１月13日（月）	2025年２月１日（土）
本校会場　広島会場（西区民文化センター）　三次会場（生涯学習センター）	広島会場（西区民文化センター）	本校会場
ＡまたはＢを選択 Ａ　国語・算数型・面接（専願・准専願・併願） Ｂ　適性型（適性Ⅰ・Ⅱ）・面接（准専願・併願）	国語・算数・面接	国語・算数・作文・面接

高等学校　**＜全日制課程＞募集人員（推薦：約80名、一般：約50名）**

推薦入試（専願）	一般入試（専願・准専願・併願）
2025年１月18日（土）	2025年２月１日（土）
本校会場	本校会場、三次会場（生涯学習センター）
国語・英語・数学・面接	国語・英語・数学・理科・社会

プログレスコースは、６カ年マイルストーンにもとづき、中学から先取り授業を進め、高校入試なしでスムーズに高校課程に入ります。高校からの３カ年コースは、社会探究、特進、スーパー特進の３コースを開設し、難関国公立大学をはじめ、多様な進路実現を目指します。

中高一貫コース・高校３カ年コース

	中１	中２	中３	高１	高２	高３
中高一貫プログレスコース	中学（２クラス）			スーパー特進（１クラス） ・高３は演習授業中心		東大 京大 広大 国公私大 専門学校 就職
				特進（２クラス） ・文武両道の実践 ・全ての進路に対応		
高校３カ年コース				社会探究（１クラス） ・文系に特化、課題研究		

広島新庄高等学校　令和５年度 卒業生合格先

令和５年度　卒業生120名
（　）内は既卒生

■国立大学

	合格人数
神戸大学	1
島根大学	2
岡山大学	1（1）
広島大学	1
山口大学	6
香川大学	1
愛媛大学	4
九州工業大学	1
佐賀大学	1

■公立大学

	合格人数
公立鳥取環境大学	1
島根県立大学	1
新見公立大学	1
県立広島大学	2
周南公立大学	1
山口県立大学	1
北九州市立大学	3
沖縄県立芸術大学	1

■私立大学

	合格人数
慶應義塾大学	1
国士舘大学	1
専修大学	1
拓殖大学	1
多摩美術大学	1
中央大学	1
東海大学	4
東京女子大学	1
東京造形大学	1
日本大学	1
日本体育大学	1
武蔵野美術大学	1
立教大学	1
京都外国語大学	2
京都産業大学	1
京都先端科学大学	1
京都橘大学	1
同志社大学	2
立命館大学	3
龍谷大学	3
大阪大谷大学	1
大阪学院大学	4
大阪経済大学	2
大阪工業大学	1
大阪国際大学	1
大阪産業大学	1
大阪成蹊大学	1
大阪体育大学	1
関西医療大学	1
関西外国語大学	7
近畿大学	6
摂南大学	2
桃山学院大学	3
関西国際大学	1
関西学院大学	2
甲南大学	3
神戸学院大学	1（1）
岡山理科大学	6
環太平洋大学	1
吉備国際大学	2
倉敷芸術科学大学	1
くらしき作陽大学	1
就実大学	1
エリザベト音楽大学	1
日本赤十字広島看護大学	1
比治山大学	2
広島工業大学	14
広島国際大学	6
広島修道大学	18
広島文化学園大学	1
広島文教大学	1
福山大学	2
福山平成大学	1
安田女子大学	9
松山大学	1
福岡歯科大学	1
福岡大学	6
宮崎産業経営大学	1

■公立短期大学

	合格人数
大分県立芸術文化短期大学	1

■国公立専門学校

	合格人数
広島県立三次看護専門学校	1
広島市立看護専門学校	1

■私立専門学校

	合格人数
愛仁会看護助産専門学校	1
大阪病院附属看護専門学校	1
川崎リハビリテーション学院	1
大原ビジネス公務員専門学校広島校	1
広島酔心調理製菓専門学校	1
広島美容専門学校	1
広島Law&Business専門学校	1
広島リゾート&スポーツ専門学校	1
広島情報ビジネス専門学校	1
福山市医師会看護専門学校	1

■就職

	人数
陸上自衛隊	4
広島市消防局	1
株式会社熊平製作所	1

ご厚志

令和5年9月1日～令和6年8月31日

奨学基金

樋口　輝昭様　一五〇、〇〇〇円
宇川　昌宏様　一〇、〇〇〇円
伊藤　泉様　一〇、〇〇〇円
宮庄　広雄様　三、〇〇〇円
中田　拓司様　五、〇〇〇円
梅田　隆秀様　一〇、〇〇〇円
多田　博雄様　一〇、〇〇〇円
西田　浩一様　一〇、〇〇〇円
岸　明子様　二〇、〇〇〇円
天玉　朝子様　五〇、〇〇〇円
木下　義章様　一〇、〇〇〇円
佐田　増藏様　三〇、〇〇〇円
藤田　香織様　一〇、〇〇〇円
香口　一子様　五、〇〇〇円
佐々木智治様　二、〇〇〇円
藤田さとみ様　一〇、〇〇〇円
中村　晃司様　八、〇〇〇円
匿　名様　一〇二、〇〇〇円

クラブ活動育成基金

中塚　愛子様　一〇、〇〇〇円
香口　一子様　五、〇〇〇円
服部　照雄様　三、〇〇〇円

図書館

福田有記永様　三〇、〇〇〇円
福田有記永様　図書寄贈多数

教育費

三浦　益隆様　一〇、〇〇〇円
和田　高秀様　五〇、〇〇〇円
杉本　武信様　五〇、〇〇〇円
堀田　秀貴様　一〇、〇〇〇円
齋藤　實様　一〇、〇〇〇円
田村　孝一様　一〇、〇〇〇円
牧　鈴枝様　一〇、〇〇〇円
齋藤　實様　二〇、〇〇〇円
対馬　寛治様　一〇、〇〇〇円
上田医院　上田　敏明様　一〇〇、〇〇〇円
山本ヨシエ様　五、〇〇〇円
森脇　大揮様　三、〇〇〇円
佐々木真理様　一〇、〇〇〇円
齋藤　翔子様　三、〇〇〇円
多川　孝之様　一〇、〇〇〇円
堤　美智様　一、〇〇〇円
永井　洸成様　三、〇〇〇円
土屋友美子様　五、〇〇〇円
林　康生様　五、〇〇〇円
折口　一彦様　一〇、〇〇〇円
岡本みゆき様　一〇、〇〇〇円
井丸　俊治様　一〇、〇〇〇円
竹内美津江様　三、〇〇〇円
新庄高校三十七回生（三年四組有志一同）様　一一、〇〇〇円
合同会社Gスパークル　藤本　和三様　五〇、〇〇〇円
新庄高校二十六回生一組クラス会様　一〇、〇〇〇円
長谷川体育施設㈱　中国営業所　様　一〇〇、〇〇〇円
沖　岩雄様　二〇、〇〇〇円
高杉　良知様　五、一五〇円
新庄高校二十六回生様　四〇、〇〇〇円
沼田　真路様　一〇、〇〇〇円
脇本　哲自様　一〇〇、〇〇〇円
二張　洋司様　一〇、〇〇〇円
山西　正晃様　三、〇〇〇円
山下　晴美様　三〇、〇〇〇円
山田　茂昭様　一〇〇、〇〇〇円
尾崎　光政様　一〇、〇〇〇円
山本　義則様　一〇、〇〇〇円
村田　将様　五〇、〇〇〇円
金廣　力丸様　三〇、〇〇〇円
藤田　睦弘様　一〇、〇〇〇円
溝上香奈子様　五、〇〇〇円
高杉　良知様　五、一五〇円
沼田　真路様　一〇、〇〇〇円
山根　美佳様　二、〇〇〇円
樋口　輝昭様　一六〇、〇〇〇円
谷口　弘一様　五、〇〇〇円
佐田　増藏様　三〇、〇〇〇円

卒業式お祝い

大畑　和憲様　一〇、〇〇〇円

入学式お祝い

大畑　和憲様　一〇、〇〇〇円
匿名様　一〇、〇〇〇円

創立記念式典お祝い

㈲トータルインテリアシラマサ様　三〇、〇〇〇円
小田　幸英様　一〇、〇〇〇円

創立百十五周年お祝い

柿元　千里様　一〇、〇〇〇円
豊留　晴澄様　一〇、〇〇〇円
西尾　節子様　一〇、〇〇〇円

香典返しとして

立沢文明様親族御一同様　一五〇、〇〇〇円

硬式野球部

一部　順二様　一〇、〇〇〇円
沖　和美様　一〇、〇〇〇円
野球部後援会　黒土　20トン
野球部ＯＢ会　試合球　10ダース
郷田様　真砂土　12台
そら保健接骨院空久保友平様　米　30kg×2
小泉病院様　アクエリアス　1ケース
広島新庄中学校軟式野球部様　アクエリアス　1ケース
AZALEA石橋様　アクエリアス　1ケース
八反田ストア様　アクエリアス　3ケース
浅井様（27回生）　ご厚志

高校サッカー部

櫻井　智美様　二〇、〇〇〇円
メイト㈲　代表取締役　細山　力生様　五〇〇、〇〇〇円
幟立　昭博様　一〇、〇〇〇円
計田　一法様　一〇、〇〇〇円
沖　和美様　一〇、〇〇〇円
千代田中央病院　大会協賛　他
㈱サクシード　大会協賛
Ｋｎｏｗｓ　大会協賛
藤井歯科　飲料水　他

高校軟式野球部

白砂　俊郎様　夏県大会金一封
山下　輝様　夏県大会金一封
有間　健人様　飲料水
藤田　唯仁様・中村　泰征様・中本　航太様・林　宗明様　飲料水
宮上　宣則様　飲料水
沼田建材様　草刈り用具一式　水抜き用具一式
広島新庄高校野球部ＯＢ会　差入れ高級肉・試合球10ダース

中学校軟式野球部

池田　淳二様　飲料水

吹奏楽部

第31回定期演奏会寄付
島五　男様　三〇、〇〇〇円
栗栖　太様　一〇、〇〇〇円
元林　大様　一〇、〇〇〇円
匿名　三〇、〇〇〇円
匿名　一〇、〇〇〇円
匿名　二〇、〇〇〇円
安佐南区文化センターホール代寄付
大田ルリ子様　七二、八〇〇円

スキー部

スキー部ＯＢ会　支援金　五〇、〇〇〇円

郷土芸能同好会

寄実　拓也様　神楽甲子園金一封

退任・新任者名簿

令和５年度　後半分

「新任」

森近　正道（スクールバス運転手）　令和5年10月1日～
甲斐　徳子（事務）　令和6年1月1日～
清水　則雄（スクールバス運転手）　令和6年1月15日～

「退職」

三宅　真理（事務）　昭和61年～
山根　彩（保健体育）　平成29年～
有田　和平（保健体育）　令和3年～
田村　亮介（数学科講師）　昭和52年～
上原　顕照（国語科講師）　平成14年～
信藤　瑶（英語科講師）　令和５年～

令和６年度分

「新任」

石岡　涼（保健体育科）
舩田　真治（保健体育科）

広島新庄高等学校通信制課程
「未来デザインコース」開校！

創立115周年を迎えた2024年、通信制課程「未来デザインコース」が誕生し、1期生として7名の生徒が入学しました。

●開校の経緯

現在15歳人口は減ってきていますが、通信制高校へ進学する生徒は年々増えています。毎日通学することが当たり前と考えられていた時代から、学び方の多様性が求められる時代にかわってきています。しかし北広島町を含む広島県の北部には、通信制高校は1校もありませんでした。したがって広島県北部の生徒で通信制高校を希望する場合は、広島市や広島県外にしか選択肢がなかったのです。邑南町など島根県南部の生徒も同様で、浜田市や県外にしか選択肢がありませんでした。そこで、学び方の多様性に対する新庄学園の進化と地域からの要望から「未来デザインコース」が生まれました。未来デザインコースの誕生で生徒の進路選択肢が広がり、通学（経費）の負担減や、大学進学などの進路実現が目指せることになりました。

●全日制課程と通信制課程の違い

全日制課程は、時間割（1日6～7時間）にある授業に出席し、定期テストなどにすべて合格することでそれぞれの教科の単位が認定されます。これを3年間積み重ねて卒業となります。これに対して、通信制課程では、それぞれの教科（全日制課程と同じ）ごとに決められたスクーリング（授業）参加とレポート課題の提出をし、単位認定試験に合格すると単位が認定されます。合計74単位以上の取得で卒業となります。

●未来デザインコースの特徴

①1～2回／週のスクーリングで、3年で高校が卒業できる（通信制課程高校の平均は4年が多い）
②全日制課程併設の校内型通信制課程で、充実の施設と一人ひとりに寄り添った進路指導が受けられる
③少人数（1クラス約15人）で担任（副担任）が相談に乗ってくれる
④全日制課程（社会探究コース）への課程変更が可能
⑤北広島町の自然や文化・歴史を教材にした新庄ならではの体験・探究活動ができる

●1期生の様子

1期生の出身地域は、島根県邑智郡が1名、広島県北部が4名、広島市が2名です。みんなスクーリング参加やレポート提出、単位認定試験などを頑張っています。体験・探究活動として、宮島遠足（1学期）、テングシデの学習（1学期）、豊平のそば打ち体験と戦国の歴史館の見学（2学期）等をしました。3学期には、探究の成果発表会や芸北でのスキー実習をする予定です。

●おわりに

これからも生徒と教職員で力を合わせて未来デザインコースの歴史をつくっていきたいと思います。現在、来年度新入学2期生の募集中です。みなさまのご家族やお知り合いに高校通信制課程を進学先に考えている生徒さんがおられましたら、「未来デザインコース」をご紹介いただければ幸いです。

統括教頭　平野　正

SHINJO HIGHSCHOOL HIROSHIMA
私学新庄　第58号　令和6年12月
（題字は故宮庄ミツヨ先生）
発行所　〒731-2198
広島県山県郡北広島町新庄848　広島県新庄学園
TEL0826-82-2323 FAX0826-82-3273　https://www.shinjou.jp/